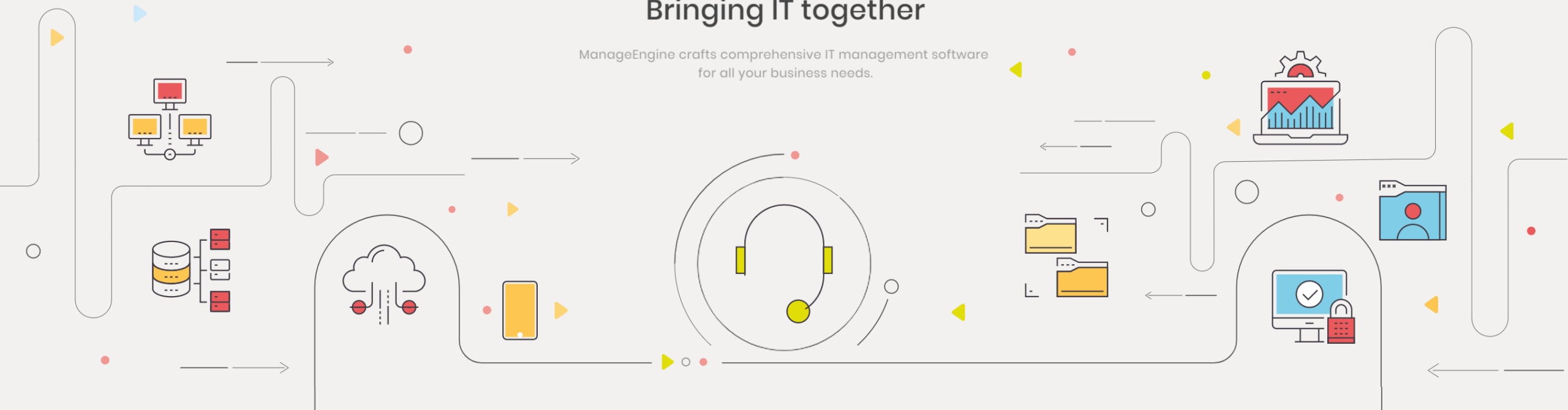


Bringing IT together

ManageEngine crafts comprehensive IT management software
for all your business needs.



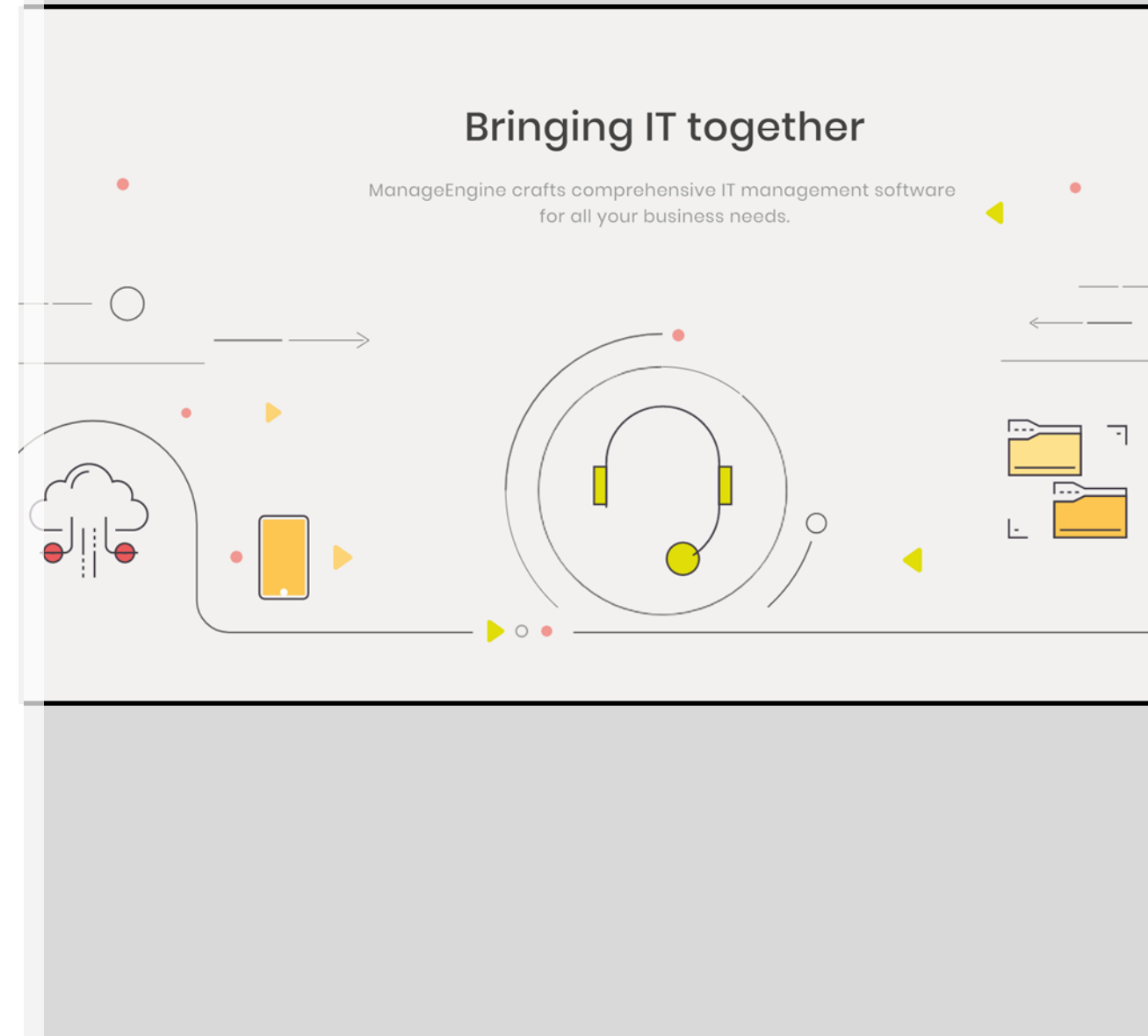
ManageEngine Log360 Cloud

ライセンス体系改定に関する補足資料

ゾーホージャパン株式会社

目次

- ライセンス改定の概要
- 各コンポーネントについて
- お客様への影響
- お客様の対応方法
- FAQ



ライセンス改定の概要

従来の検索とアーカイブのストレージ容量の課金体系から、ログを収集する種別とストレージ容量を合わせた課金体系に改定となります。

また、Professional EditionとEnterprise Editionの2つのEditionによる提供となります。旧体系のProfessional Editionと新体系のProfessional Editonは別物となり、機能に差異があります。

	改訂前	改定後
本体ライセンス	50GBの検索ストレージと150GBのアーカイブストレージ	基本モジュール
オプション	・追加 検索ストレージ & アーカイブストレージ オプション ・追加 100 GB アーカイブストレージ オプション (※) ・Advanced Threat Analytics オプション ・Advanced Threat Analytics (追加検索ストレージ) オプション	・ログソース ・エンドポイント ・クラウドアカウント ・ドメインコントローラー ・ファイルサーバー ・追加 10 GB 検索ストレージ / 30 GB アーカイブストレージ ・追加 100 GB アーカイブストレージ (※)

※ アーカイブストレージのみ増やす場合のオプション

新体系の各コンポーネントの概要

各コンポーネントに含まれる対象は下記の通りです。なお、各コンポーネントには、ベースとなる検索ストレージとアーカイブストレージ（検索ストレージの12倍）が含まれます。詳細は[価格表](#)をご参照ください。

【例】10 ログソースの場合：150 GB 検索ストレージ & 1800 GB アーカイブストレージ

コンポーネント名称	概要
ドメインコントローラー	ドメインコントローラー
ファイルサーバー	Windows ファイルサーバー（※） EMC / NetApp / QNAP / Synology などサポート対象のNAS
エンドポイント	Windows ワークステーション
クラウドアカウント	AWS、Microsoft365
ログソース	ネットワーク機器やLinux/Unixサーバーのsyslog、メンバーサーバー等、他種別に属さない対象のログ

※ Windowsファイルサーバーの場合、デバイスの役割に応じたコンポーネントライセンス（例：ドメインコントローラー、ログソース）が別途、必要となります。

新体系のEdition比較

新体系では、Professional EditionとEnterprise Edition の2つのEditionがあります。旧体系の Professional Editionと新体系の Professional Editon には機能に差異があります。新体系のProfessional Editionでは、[Edition比較ページ](#)の「Enterprise Edition 限定」欄に記載の機能が利用できません。

(Editionによる主な違い)

	Professional	Enterprise
検出ルール数 (HCR : 高度な計算ルール)	HCR : 100 Non-HCP : 1,000	HCR : 200 Non-HCP : 2,000
エクスポートのスケジュール設定	20	250
アラートプロファイル	200	500
ストレージ層	20	30
SOAR (検出・調査・対応の自動化) ※	×	○
調査エージェント (AIによるアラートの調査)	×	○
CASB (クラウド監査)	×	○

※SOARは、「プレイブック」および「カスタム関数」の機能を指します

Log360 Cloudをご利用中のお客様の対応

本改定前にご契約されているお客様は、契約期間が2026年11月1日～2027年10月31日に掛かる保守および年間ライセンスの更新、トレードアップに関しては、旧体系で承ります。なお、本改定後も旧体系で継続されている期間は、旧体系の内容で製品をご利用頂けますので、その間、お客様への製品利用における影響はございません。

その次の更新の際は、新体系で更新いただきます。お客様の更新対象ライセンスおよび金額につきましては、ご希望のEditionとログ収集の対象コンポーネント（ログソース/エンドポイント/クラウドアカウント/ドメインコントローラー/ファイルサーバー）の数量を購入元の販売代理店または当社までお知らせください。

※数量の確認方法は次頁以降を参照

ログ収集の対象コンポーネント数の確認方法

【留意事項】

- お見積もりの際は、次ページ以降に記載の例を参考に、各コンポーネント数および必要ストレージの確認の上、販売代理店または当社までご連絡をお願いします。
- 無効化されているデバイスはライセンス消費の対象外です。
- フィルターを適用する手順では、複数のフィルターが設定されないようにご注意ください。
例：ドメインコントローラーのフィルターを設定した後、エンドポイントのフィルターを設定する場合、一度ドメインコントローラーのフィルターを解除する必要があります。解除しない場合、ドメインコントローラーとエンドポイントによりデバイスが抽出されます。

ログ収集の対象コンポーネント数の確認方法（ドメインコントローラー）

1. [設定]タブ → [構成]タブ → [ログソースの構成] → [デバイス] → [Windowsホスト]タブに移動
2. 種類[ドメインコントローラー]でフィルター
3. 表上部の合計数を確認（以下の例では1台）

ホーム レポート コンプライアンス 検索 アラート クラウド監査 **セキュリティ** 設定 ログミラー サポート ***

構成 管理者

ログソースの構成

- デバイス
- アプリケーション
- ログをインポート
- クラウドソースの管理
- ファイル整合性監視

クラウド監査設定

ブレイック

ホストの管理

Windowsホスト Syslogデバイス 他のホスト

カテゴリの選択 すべてのホスト 設定済みドメイン/ワークグループ

+ (複数)ホストの追加

1 - 1 of 1 10 100 1000

IPアドレスの表示	エージェント	最終メッセージ時刻	最終イベント収集	次回スキャン時刻	監視間隔
j-windows	j-windows	2026-09-28 16:52:16	-	-	リアルタイム

すべて
Cloud Account Group
Cloud Protection Clu...
DefaultGroup
TEST
UnixGroup
Windows Workstation
WindowsGroup

種類

- すべて
- ✓ ドメインコントローラー
- メンバー・サーバー
- ワークステーション

フィルターの解除

ログ収集の対象コンポーネント数の確認方法（エンドポイント）

1. [設定]タブ → [構成]タブ → [ログソースの構成] → [デバイス] → [Windowsホスト]タブに移動
2. 種類[ワークステーション]でフィルター
3. 表上部の合計数を確認（以下の例では1台）

The screenshot displays the 'Host Management' interface in the ManageEngine Log360 application. The left sidebar shows the navigation menu with '構成' (Configuration) selected. The main area shows the 'Windows Hosts' tab, with a search bar and a filter dropdown set to 'すべてのホスト' (All Hosts). A red box highlights the count '1 - 1 of 1' in the top right corner of the table, indicating that there is 1 host matching the filter. The table lists the host details, including IP address, agent name, and scan times.

IPアドレスの表示	エージェント	最終メッセージ時刻	最終イベント収集	次回スキャン時刻	監視間隔
A-WIN1	adap-win2016	2026-09-30 16:50:12	2026-09-30 16:50:12	2026-09-30 17:00:12	10 分

ログ収集の対象コンポーネント数の確認方法（ファイルサーバー）

1. [ホーム]タブ→[ログソース]→[ファイル整合性監視]タブに移動
2. 表上部の合計数を確認（以下の例では1台）



The screenshot shows the ManageEngine LogSource interface. The top navigation bar includes tabs for Home, Reports, Compliance, Search, Alerts, Cloud Monitoring, Security (highlighted), Settings, Log Miner, and Support. Below this, the 'LogSource' section is active, with sub-tabs for Devices, Applications, Cloud Sources, Gateway Clusters, and File Integrity Monitoring (selected). A table lists log sources, with one entry 'adap-win2016' shown. The table has columns for Device, IP, Actions (Create, Modify, Delete, Rename, Change Permissions), Total, and Device Status. The 'Total' column for 'adap-win2016' shows '0'. In the top right of the table area, a summary '1 - 1 of 1' is displayed, indicating 1 total item, 1 item on the current page, and 1 item in the first of 1 pages. This summary is highlighted with a red box. To the right of the summary is a dropdown menu set to '10' items per page. Above the table, there are links for 'Export Format' and 'Manage File Monitoring Function'.

デバイス	IPを表示	作成	修正	削除	リネーム	変更されたパーミッション	合計	デバイスステータス
adap-win2016		0	0	0	0	0	0	ログを取得中

ログ収集の対象コンポーネント数の確認方法（クラウドアカウント）

1. [設定]タブ → [管理者]タブ → [管理] → [アカウント設定] → [クラウドアカウントを構成]タブに移動
2. 表上部の合計数を確認（以下の例では1アカウント）
3. 手順2で確認した値から Salesforce のアカウント数を差し引く
【例】M365が3アカウント、AWSが1アカウント、Salesforceが2アカウントの場合、必要なクラウドアカウントライセンスは「4（3+1+2-2）」となる。

The screenshot shows the ManageEngine Cloud Account Management interface. The top navigation bar includes tabs for Home, Reports, Compliance, Search, Alerts, Cloud Monitoring, Security, Settings, Log Manager, Support, and a menu icon. The left sidebar has a 'Management' section with options like 'Manage Agents', 'Manage Log Source Groups', 'User Management', 'Technical Support Monitoring', 'Threat Management', 'Account Settings', 'Listener Report', 'Integration', 'Marketplace', 'Product Customization', 'Data Storage', and 'System Settings'. The main content area is titled 'Account Management' and has three sub-tabs: 'Domain Management', 'Workgroup Management', and 'Cloud Account Management'. The 'Cloud Account Management' tab is active, showing a table of cloud accounts. The table has columns for 'Action', 'Display Name', 'Account Type', 'Source Count', 'Setup Time', 'Object Sync Schedule', and 'Status'. A single account is listed: 'jpmanageengine.onmicrosoft.com' of type 'Microsoft 365' with 2 sources, set up on 2026-01-06 09:31:29, with a sync schedule of '構成' and a status of '成功'. Above the table, there is a search bar, a dropdown for 'Account Type' set to 'すべて', a link for 'Source Management', and a green button '+ クラウドアカウントを追加'. A red box highlights the summary text '1 - 1 の 1' and a dropdown menu showing '10'.

実行	表示名	アカウントの種類	ソースの数	設定時間	オブジェクト同期スケジュール	ステータス
	jpmanageengine.onmicrosoft.com	Microsoft 365	2	2026-01-06 09:31:29	構成	成功

ログ収集の対象コンポーネント数の確認方法（ログソース）

1. [ホーム]タブ→[ログソース]→[デバイス]タブに移動
2. 表上部の合計数（以下の例では10台）からドメインコントローラーおよびエンドポイントで確認したデバイス数を差し引く（本資料の例では8台となる）
3. 手順2で算出した値にクラウドアカウントで確認したSalesforceのアカウント数を加算（例：クラウドアカウントにSalesforceが1アカウント設定されている場合は、本資料の例で必要なログソース数は8+1の9になる）

ホーム

レポート

コンプライアンス

検索

アラート

クラウド監査

NEWセキュリティ

設定

ログミ

サポート

ログソース

ダッシュボード

今日

デバイス

アプリケーション

クラウドソース

ゲートウェイクラスタ

ファイル整合性監視

☐ 新しいログ形式が必要ですか？

1 - 10 の 10

10

🔄

🖨️

デバイス	IPアドレスの表示	イベント数	すべて表示	ログソースの種類	最終メッセージ時刻	次回スキャン時刻	デバイスステータス	エージェント	エージェントの
224041ADAP	👤 🏠	0		Windows	-	2026-09-30 17:00:03	RPCサーバーは利用できません/Win...	adap-win2016	9.4
3G-DEMO	👤 🏠	0		Windows	-	2026-09-30 17:00:02	RPCサーバーは利用できません/Win...	adap-win2016	9.4
A-SASAKI-DSP	👤 🏠	0		Windows	-	2026-09-30 17:00:09	RPCサーバーは利用できません/Win...	adap-win2016	9.4
ad360	👤 🏠	0		Windows	2026-09-28 16:52:16	-	成功	j-windows	9.4
adap-win2016	👤 🏠	26225		Windows	2026-09-30 16:51:11	-	成功	adap-win2016	9.4
ADSSP-EMFA-WIN1	👤 🏠	4643		Windows	2026-09-30 16:50:12	2026-09-30 17:00:12	成功	adap-win2016	9.4
j-windows	👤 🏠	0		Windows	2026-09-29 10:35:33	取り込みキューに入りました	成功	j-windows	9.4
takehiro-centos7	👤 🏠	7191		Unix	2026-09-30 16:50:46	-	ログを取得中	adap-win2016	9.4
testreport	👤 🏠	0		Fortinetデバイス	-	-	ログ転送は構成されていません。	adap-win2016	9.4
WINDOWS99	👤 🏠	44084		Windows	2026-09-30 12:32:01	-	成功	adap-win2016	9.4

ストレージ容量の算出方法

- 各コンポーネントのライセンス数をカウント後、コンポーネントライセンスが付与するストレージを算出
本資料の例では、下記のように検索ストレージ650GB、アーカイブストレージ7800GBとなる。

	必要ライセンス	検索ストレージ	アーカイブストレージ
ドメインコントローラー	2ドメインコントローラー	100GB	1200GB
エンドポイント	100エンドポイント	200GB	2400GB
ファイルサーバー	2ファイルサーバー	100GB	1200GB
クラウドアカウント	1クラウドアカウント	100GB	1200GB
ログソース	10ログソース	150GB	1800GB
合計		650GB	7800GB

- 算出したストレージが現在のストレージ消費（以下の例では検索ストレージ：12.37GB、アーカイブストレージ：85.39GB）より少ない場合は、追加検索ストレージ、追加アーカイブストレージオプション、または各コンポーネントオプションのトレードアップが必要



問合せ先



製品提供元

ゾーホージャパン株式会社



神奈川県横浜市西区みなとみらい三丁目6番1号
みなとみらいセンタービル13階

045-319-4612 (ManageEngine 営業担当)

<https://www.manageengine.jp/>

jp-mesales@zohocorp.com